

なぜ？水処理が必要ですか？

水によるトラブルフロー



- ・配管が錆びる。
- ・カルシウムが固まる。

配管が詰まる。

流量が落ちる。

冷却や温調が出来ない。

稼働停止時間の延長
不良率の増加

水が原因でこれだけの損失が起きる可能性があります。

- ・生産不良による損失
- ・生産停止時間の延長による生産性の悪化
- ・機器の消耗による設備費の増加

水質維持対策の例

薬剤投入

清掃

設備の更新

- ・維持費が高い
- ・錆対策とスケール対策が両立しにくい。

- ・人件費が高い
- ・頻繁に実施できないと一定期間は、汚れた状態になる。

- ・設備費が高い
- ・初期投資や維持費が掛かりすぎる



今設備に求められているのは・・・

- ◎初期投資が少ない
- ◎ランニングコストが掛からない。
- ◎オペレーターの手間が少ない。

という水処理です。

モールドウォーターならそれが出来ます！！
水処理の改善は、大幅な経費削減になります！！

水質改善する理由・効果

現在・設備が稼働している。
現在特にトラブルは無し。
将来の水質の悪化が気になるが緊急性は無い。

A:何もしない
当面掛かる経費・・・0円
設備の状況・・・徐々に悪化

B:将来的なトラブル軽減の為に予防処置
当面掛かる経費・・・費用発生するが少なめ
設備の状況・・・将来的な悪化の抑制
設備寿命の延長

設備が稼働している。
水質が悪く、カルシウムの固着や錆の発生がある。
薬剤投入と年2回の清掃を実施

A:何もしない
当面掛かる経費・・・0円だが、ランニングコストが増えていくと同時に、経年後に大規模修繕が必要になってくる
設備の状況・・・徐々に悪化

B:現在のトラブルの改善とランニングコストの削減 将来的なトラブル軽減の為に予防処置
当面掛かる経費・・・費用発生するが、徐々にランニングコストが減っていく
設備の状況・・・悪化していた条件の回復
将来的な悪化の抑制

Aのように、当面の費用発生は無い代わりに、どんどんと生産性が悪くなりトータルライフコストが高くなってしまいう方法とBのように、早い段階から改善を意図して対策を行い、将来的な費用発生を抑える方法のどちらが有効だと思いますか？

水対策をしないという事は、経費を後回しにしているともいえるかもしれませんね？

生産性を維持する事は、絶対に必要な事ですよ？
ならば冷却水の水質を維持して、トラブルを防止する場合は・・・

モールドウォーター

を利用した水処理対策

**頻繁な清掃
薬剤投入**

による水処理対策



モールドウォーターを利用した水処理のほうか手間がかからない分やランニングコストが少ない事から安く済みます。